

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんあそび（線あそび）

丸（風船）の形を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クレヨン

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年7月24日
時間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

実際に見た風船、膨らませたことなど経験を話す

丸の形を描く

●子どもたちの様子

風船について尋ねると「ぷうってするよ」「手で持ってないと飛んじゃう」「丸い形！」と知っていることを言葉で伝える姿があった。実際に線を描くときは、「下からふくらませていこう」「プー」と風船を膨らませるのを想像しながら、徐々に大きく丸を描いていく姿が見られた。2つの風船をつなぐ線を描くと、「めがねみたい！」「大きいめがねになったよ！」といった発言が聞かれた



●振り返りをふまえた気づき

担任より

風船を徐々に膨らませて描くことは難易度が高かったが、最初に描いた風船に被らないようにずらして描くことが出来ていた。指示を聞いて理解して取り組むことが出来ていた。筆圧も濃くしっかりと描くことが出来るようになってきた。

講師より

子どもたちは自分の経験と結びつけながら、風船について言葉で伝えたり、動きをまねたりする姿があった。丸を描く場面では、大きさを変えるなど、それぞれが思い描く風船を楽しんで表現していたことから、表現への意欲やイメージの広がりを感じられた。また、風船同士をつなぐ線を「めがねみたい！」という表現をする姿から、発想を膨らませながら線を描く楽しさが育っていることがうかがえた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんがき（線描き）

ジグザグをさらに理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クーピー

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年7月24日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

部屋の中でや知っているような同じような形を探す

ジグザグの線を見て、特徴をみつけたり表現したりする

文字の道を見て特徴をみつけたり表現したりする

●子どもたちの様子

ジグザグしているものを問いかけると、「階段」「雷」「Z」「W」など、知っているものを挙げ、さらに形の特徴については、「チクチクしている!」とイメージを言葉にして表現していた。字の形にも目を向け、「うの道はトンネルみたい!」「滑り台みたい!」と感じたことを口にしていた。「さときは似ているけど横の棒の長さが違う!」「きは棒が一本多いね」など細かな違いにも目を向けていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

前回学んだジグザグを書く時のポイントをしっかり覚えていてワークも楽しそうに取り組んでいた。平仮名の書きに苦戦する様子も見られたが、「う」と「え」の似ているところ異なるところ、「さ」と「き」の似ているところ異なるところの発見を楽しみながら進める姿があった。

講師より

ジグザグの形をテーマにしたことで、子どもたちは身近なものの中から関連するイメージを引き出し、言葉で表現し、実際にも工夫して描こうとする姿が見られた。さらに、文字の形にも関心をもち、「トンネルみたい」「坂道みたい」と例えて伝える場面があった。細かな違いにも目を向け、よく見て気づいたことを言葉にする姿から、観察力や比較する力が育ってきていることを感じた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 ひらがな・線描き

曲線を理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、鉛筆

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年7月24日
時 間	45 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

文字の特徴と文字がつく言葉を話す

いろいろな方向から動きを工夫して描く

●子どもたちの様子

うとえのつく言葉を尋ねると、「牛」「鰻」「浮き輪」「絵馬」「絵の具」「鉛筆」などがあがった。文字の形を見て「うはハートの半分に似ている」「うとえは点が似ているけど下が全然違う」「えは下がカクカク」など、特徴をとらえて伝える姿があった。玉入れの線には「まっすぐだと入らない、ふわっとさせないと入らない」と話し、実際に線を描くときにも特徴に注意して丁寧に描いていようとする姿が見られた



●振り返りをふまえた気づき

担任より

テキストが配られるとテキストの内容にワクワクしている様子が見られた。平仮名のう、え、き、さの描き順を習う際には見本や講師のアドバイスを受けて丁寧に書こうとしていた。間違えて落ち込む姿もあったが、何度も書いて上手に書こうとしていた

講師より

文字に触れる中で、子どもたちは知っている言葉を積極的に数多く発表する姿から、語彙の広がりを感じた。また、文字に慣れ親しむ機会を重ね、文字の形の違いや特徴を考え、言葉で表現しようとする姿勢の育ちを感じた。玉入れの経験を通して線描きを考える姿からは、実際に経験したことが線の描き方にも結びついていることが感じられた。日々の経験を大事にし、子どもたちの興味をさらに広げていくような関わりをしていきたい。